

## 緑の中の出会い

中国地方最高峰の伯耆富士とも呼ばれる大山は大自然の森に囲まれていた。野鳥保護区、自然保護区にも指定され日本で3番目に国立公園となった。標高1709mを誇る大山の中腹より麓にかけての山麓帯ではアカマツやコナラの林が繁っている。そして800mを超える辺りには日本でも屈指の規模を誇るブナの森。更に1400m辺りになると特別天然記念物にも指定されている貴重なダイセンキョロボク純林も見られる。



ペンションに宿泊した朝。一人で緑が美しい森の中を散策した。胸いっぱい吸い込む空気は実に新鮮であった。鼻から入った空気は体全体隅々まで伝わっていくのを感じた。これぞ森林浴である。都会の中で普段生活する私にとって目に映る緑、清澄で香しい空気。それは長い人生にあってほんのつかの間に体験出来る至福のひと時であった。

坂の上から一人の青年が歩いてくる。近くなったので「気持ちがいいですね」と声をかけた。すると「私中国人！」とひと言。全く日本語が離せないことをとっさに覚った。お互いが交わす笑顔で友好の表現を伝える。私の方から「ニーハオ」、「ツァイツェン」と別れの挨拶をして手を振った。こんな所にまで中国人ツーリストが来ているのだ。ほんの一瞬の出会いであったが表情一つで日中友好になったかもしれない。日中関係がギクシャクしている政治情勢である近年。しかし人間と人間の交流は別だ。それぞれ友情を育んでいくなればきっと隣国として素晴らしいお付き合いが出来るものと信じている。

撮影 2016 年秋

